SONY

4-544-630-04(1)

パーソナルオーディオシステム

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

©2014 Sony Corporation Printed in China

4544630004 (1)

ZS-E80

保証書

持込修理

品名 パーソナルオーディオシステム
型名 ZS-E80
お買上げ日 平成 年 月 日

ソニー特約店

保証期間 お買上げの日から 1年
お客様住所
お名前 様

無料修理規定

型名：ZS-E80

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	
フリーダイヤル	0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話	050-3754-9577
修理相談窓口	
フリーダイヤル	0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話	050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

製品登録のおすすめ
ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。
◆パソコン・スマートフォンから
http://www.sony.co.jp/radio-regi/

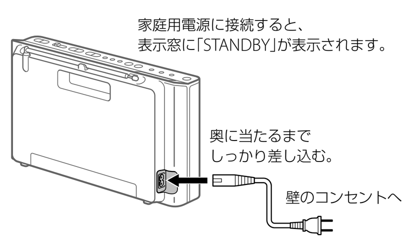
二次元コードでスマートフォンからアクセス

製品のご登録についてのお問い合わせ
ソニーマーケティング（株）
My Sony Club お客様窓口
電話：フリーダイヤル 0120-735-106
携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9639
受付時間：月～金 9:00 ～ 18:00
土日祝 9:00 ～ 17:00

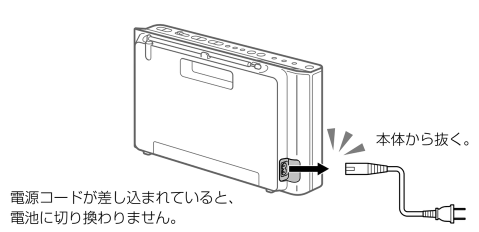
困ったときは

電源 電源が入らない

家庭用電源を使うとき

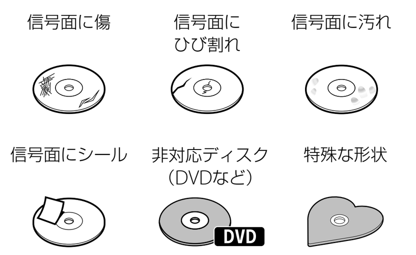


乾電池を使うとき

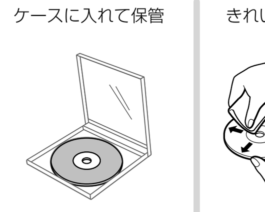


CD CDが再生できない、ノイズが入る

再生できない原因



CDの取り扱いかた、お手入れのしかた



やわらかい布で、信号面を外周に向かって軽く拭く。汚れがひどいときは、水で少し湿らせて拭いたあと、乾いた布で水気を拭き取る。

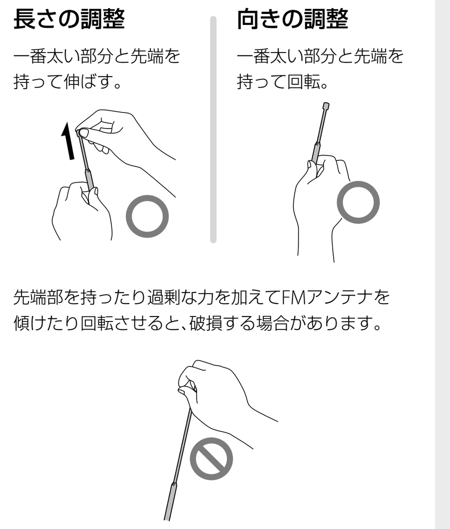
ラジオ FMアンテナの調整方法

長さの調整

一番太い部分と先端を持って伸ばす。

向きの調整

一番太い部分と先端を持って回転。



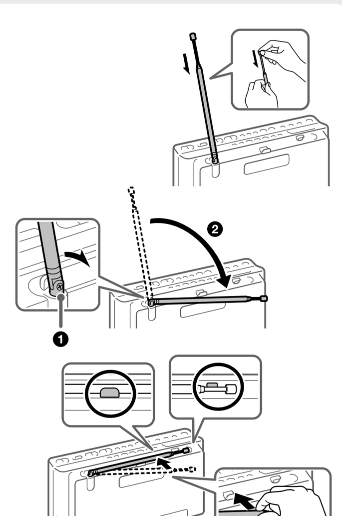
先端部を持ったり過剰な力を加えてFMアンテナを傾けたり回転させると、破損する場合があります。

収納するとき

1 **FMアンテナをゆっくり縮める。** すばやく押し下げると、縮める際にアンテナが斜めになるなどして、途中で曲がったり、根元で折れたりする恐れがあります。

2 **アンテナの付け根のネジ(❶)が、回転軸となるようにアンテナを回転させ、矢印の方向(❷)へゆっくり倒す。** 不適切な方向に無理にアンテナを倒すと破損する恐れがあります。

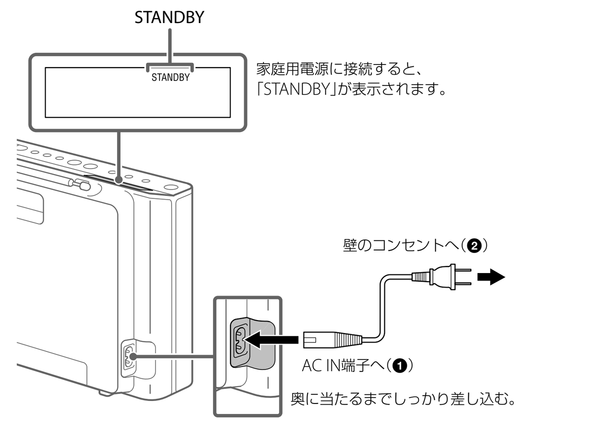
3 **傾けた状態でアンテナを水平に動かし、収納する。**



準備をする

家庭用電源を使うとき

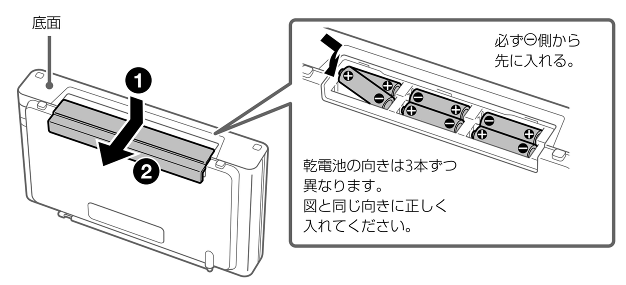
付属の電源コードを本機のAC IN端子へ差し込んだあと(❶)、壁のコンセントへ差し込んでください(❷)。



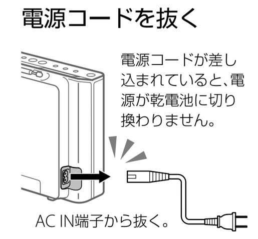
ちょっと一言
- 「STANDBY」が表示されている状態では、本機の電源は入っていません。

乾電池を使うとき

❶の部分を押しながら❷の方向にずらして電池ぶたを外し、単3形アルカリ乾電池6本(別売)を入れてください。



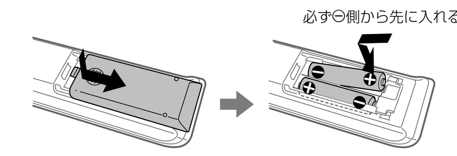
電源コードを抜く



ご注意
- 乾電池を出し入れするときは、本体やCDなどが傷つくのを防ぐために、次のことを必ず守ってください。
  - 電源コードを抜く。
  - CDを取り出し、CDぶたを閉める。
  - FMアンテナを元の位置に戻す。

ちょっと一言
- 電池には使用期限があります。使用期限の切れた電池は使わないでください。

リモコンに乾電池を入れる



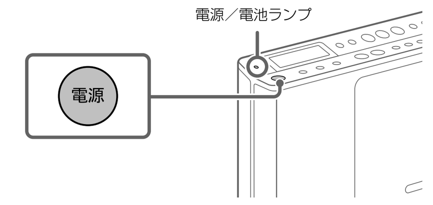
乾電池の交換について

操作できる距離が短くなってきたら、すべて新しい電池に交換してください。

操作説明のボタン表記について
本書では、本体のボタンを基本に操作を説明します。特に記載がない場合は、本体とリモコンのどちらのボタンでも操作できます。どちらか一方のボタン操作に限定される場合は、「リモコンの+10ボタン」、「本体の電源ボタン」のように表記します。

電源を入れる

電源ボタンを押して電源を入れてください。
電源／電池ランプが点灯します。



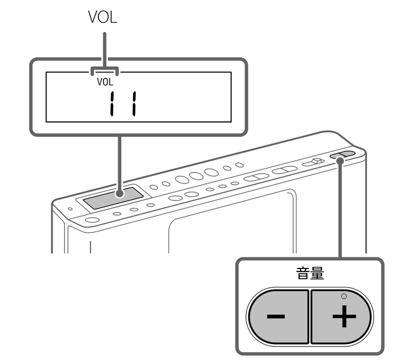
電源を切るには

電源ボタンを押す。電源／電池ランプが消灯します。

ご注意
- 乾電池でお使いの場合は、リモコンで電源を入れることはできません。
- 乾電池のみで使用中、電源／電池ランプが暗くなったり、消えたら電池の寿命です。すべて新しい電池に交換してください。

音量を調節する

音量+または－ボタンを押して、音量を調節する。



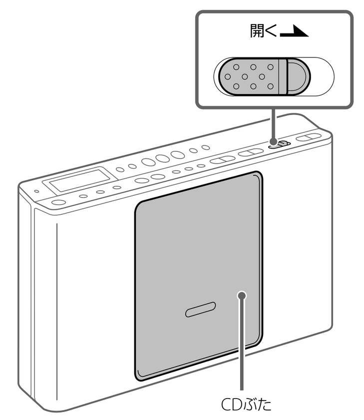
ちょっと一言
- 音量は最小(VOL 0)から最大(VOL 31)まで画面に表示されます。
- 音量＋ボタンには凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

CDを聞く

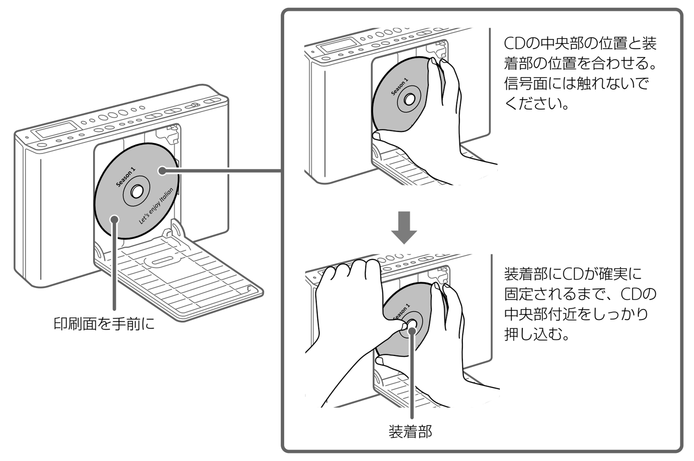
次のCDを再生できます
- 市販のCD（音楽、語学など）
- CD-R/CD-RW（CD-DA/MP3/WMA）

DVD、BD（ブルーレイディスク)は再生できません。

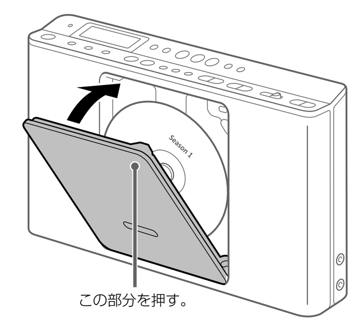
1 開く⟶スイッチをスライドさせて、CDぶたを開ける。



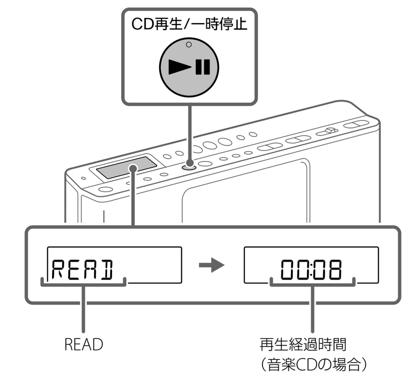
2 CDを入れる。



3 CDぶたを閉める。



4 ►II（CD再生／一時停止)ボタンを押す。
電源が入り、CDの読み込みが始まります。

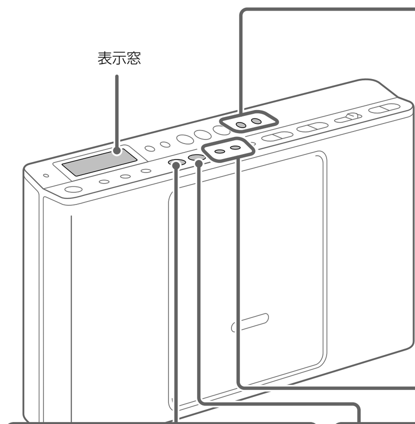


CDが読み込まれると、表示窓に「READ」が点滅します。読み込みが完了すると、自動的に再生が始まり、再生経過時間が表示されます。

ご注意
- CD再生中はCDぶたを開けないでください。

ちょっと一言
- CDの読み込み時に「キュルキュル」と音がする場合がありますが、故障ではありません。
- ►II（CD再生／一時停止)ボタンには凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

再生／選曲についてのその他の基本操作



次の曲へ進めたい／現在再生している曲の頭や前の曲に戻したいとき(曲送り／曲戻し)
- 次の曲に進めるには ►►Iボタンを押す。
- 現在再生している曲の頭や前の曲に戻すには I◄◄ ボタンを押す。

－ 登録局選択 ＋

再生中に1回ボタンを押すと現在再生している曲の頭に戻って再生を始め、2回ボタンを押した場合は1つ前の曲の頭に戻って再生を始めます。

再生中に早送り／早戻ししたいとき
- 早送りするには 再生中に►►Iボタンを押したままにして、聞きたいところで指を離す。
- 早戻しするには 再生中にI◄◄ ボタンを押したままにして、聞きたいところで指を離す。

再生を一時停止したいとき
►II（CD再生／一時停止)ボタンを押す。もう一度押すと再生が始まります。
CD再生/一時停止
表示窓に再生経過時間が点滅します。

再生を止めたいとき
■（停止)ボタンを押す。
停止
表示窓に停止した曲の曲番号が表示されます。

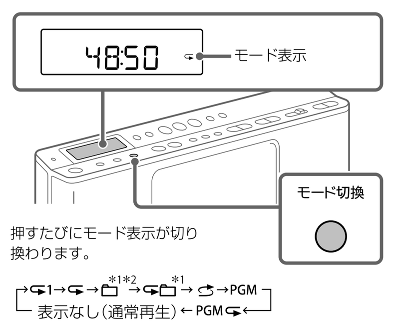
データCD（MP3/WMA)のフォルダーを選択したいとき
🗀+または－ボタンを押す。
選局/🗀
FOLDER TRACK 003020
再生するフォルダー番号

CD 再生モードを切り換えて聞く

繰り返し聞く(リピート再生)

CDに収録されている曲を1曲または全曲繰り返して聞くことができます。

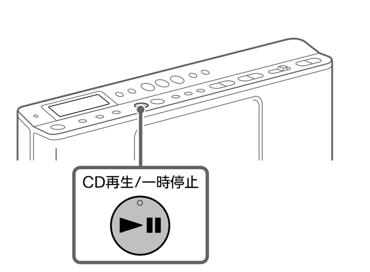
1 停止中に本体のモード切換ボタンを押して、リピートの種類を設定する。



リピートの種類	説明
↻1	1曲だけ繰り返します。►►Iまたは I◄◄ ボタンを押して、曲番を選んでください。
↻	全曲を繰り返します。
↻🗀*1	データCD（MP3/WMA)の場合、データCD上のフォルダーを指定し、フォルダー内の全曲を繰り返して再生します。🗀+または－ボタンを押して、フォルダーを選んでください。
PGM ↻	プログラム登録した曲を繰り返します。詳しくは「聞きたい曲を好きな順に聞く」をご覧ください。

＊1 CD-DAには対応していません。
＊2 指定したフォルダー内の全曲を再生します。

2 ►II（CD再生／一時停止)ボタンを押す。



リピート再生が始まります。

リピート再生をやめるには

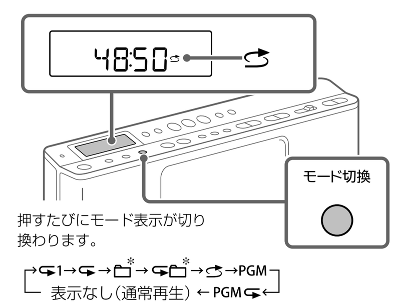
停止中に「↻」の表示が消えるまで、本体のモード切換ボタンを繰り返し押す。

ご注意
- 再生中、または一時停止中にモード切換ボタンを押すと、「PUSH STOP」が表示されます。■（停止)ボタンを押して、停止状態にしてから再生モードを設定してください。

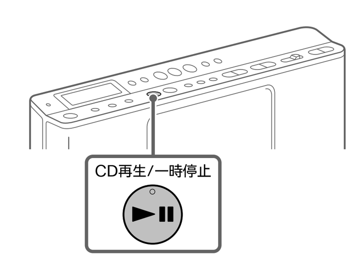
順不同に聞く(シャッフル再生)

CDに収録されている全曲を順不同に聞くことができます。

1 停止中に本体のモード切換ボタンを押して、「⤻(シャッフル再生)」を表示させる。



2 ►II（CD再生／一時停止)ボタンを押す。



シャッフル再生が始まります。

シャッフル再生をやめるには

停止中に「⤻」の表示が消えるまで、本体のモード切換ボタンを繰り返し押す。

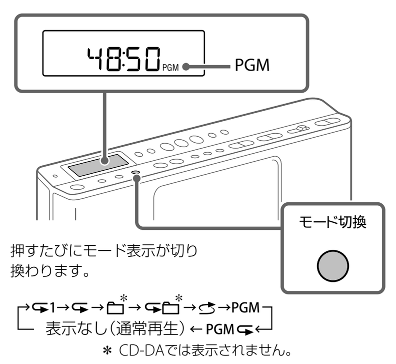
ご注意
- 再生中、または一時停止中にモード切換ボタンを押すと、「PUSH STOP」が表示されます。■（停止)ボタンを押して、停止状態にしてから再生モードを設定してください。

ちょっと一言
- シャッフル再生のときは、一度再生を停止し、次に►II（CD再生／一時停止)ボタンを押しても、停止したところから再生を再開することはできません。

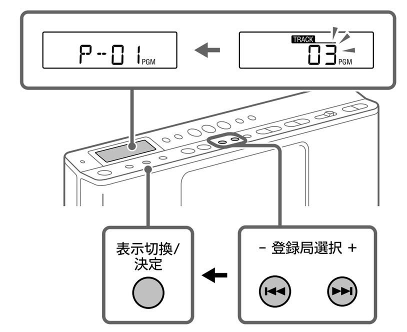
聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム再生)

聞きたい曲を聞きたい順に25曲までプログラム登録することができます。

1 停止中に本体のモード切換ボタンを押して、「PGM（プログラム再生)」を表示させる。

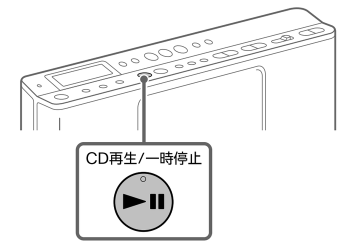


2 ►►Iまたは I◄◄ ボタンを押して曲を選び、決定ボタンを押す。



引き続き曲を登録する場合は、同じ操作を繰り返します。

3 ►II（CD再生／一時停止)ボタンを押す。



プログラム再生が始まります。

プログラム再生をやめるには

停止中に「PGM」の表示が消えるまで、本体のモード切換ボタンを繰り返し押す。

番号入力で曲を選ぶには

「リモコンの数字ボタンを使ってCDの曲番やラジオの登録局番号を入力する(ダイレクト入力)」をご覧ください。

プログラム再生を繰り返すには(プログラムリピート再生)

停止中に本体のモード切換ボタンを1回押し、「PGM」と「↻」を表示させる。

プログラムを削除するには

再生前の停止状態のときには1回、再生中の場合には2回、■（停止)ボタンを押す。
そのとき登録されていたプログラムの内容が消えて「noSTEP」と表示されます。

プログラムの登録情報を確認するには

停止中に表示切換ボタン(リモコンでは決定ボタン)を押す。押すたびに、最後に登録した曲の曲番と登録されている曲数が交互に表示されます。

TRACK 06 PGM　P-02 PGM
最後に登録した曲の曲番(音楽CDの場合)　登録されている曲数

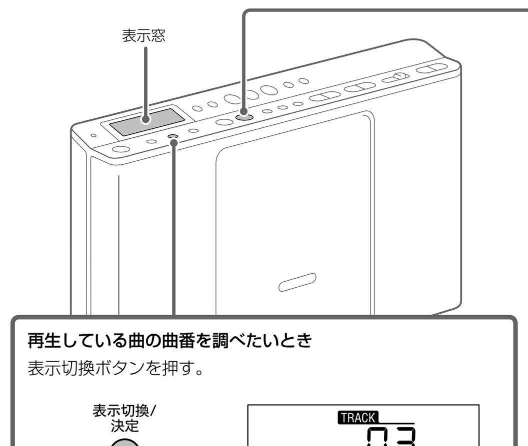
現在のプログラムの最後に新たに曲番を追加するには

停止中に►►Iまたは I◄◄ ボタンを押して曲番を選び、決定ボタンを押す。

ご注意
- 再生中、または一時停止中にモード切換ボタンを押すと、「PUSH STOP」が表示されます。■（停止)ボタンを押して、停止状態にしてから再生モードを設定してください。
- CDぶたを開けると、そのとき登録されていたプログラムの内容は消えます。

ちょっと一言
- プログラム再生が終わっても、登録したプログラムは残っています。►II（CD再生／一時停止)ボタンを押すと、同じプログラムをもう一度聞くことができます。
- プログラム再生とプログラムリピート再生を切り換えてもプログラムは同じです。どちらのときもプログラムを登録できます。
- 26曲目を選ぼうとすると、「FULL」が表示されて登録できません。

表示窓の情報切り換え操作



再生している曲の曲番を調べたいとき
表示切換ボタンを押す。
表示切換/決定
(リモコンでは決定ボタン)
TRACK 03
曲番

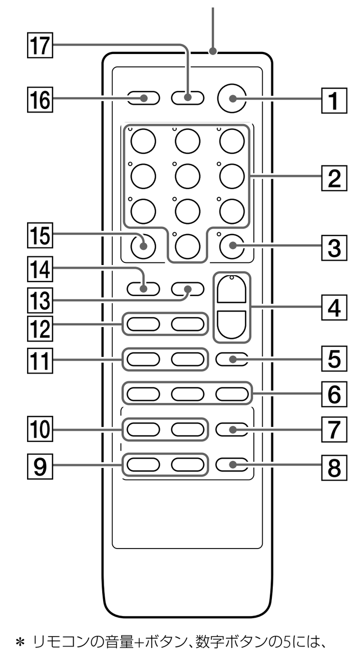
音楽CDの停止中の表示を切り換えたいとき
総再生時間表示のときに表示切換ボタンを押す。
総曲数表示に切り換わります。

音楽CDの収録曲数や再生時間を調べたいとき
再生中には2回、停止中には1回、■（停止)ボタンを押す。
停止
TRACK 12 → 48:50
総曲数　総再生時間

データCD（MP3/WMA)のフォルダー数や曲数を調べたいとき
再生中には2回、停止中には1回、■（停止)ボタンを押す。
FOLDER TRACK 009050
総フォルダー数　総曲数

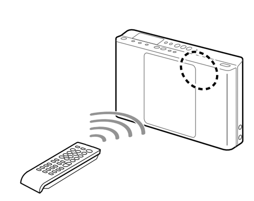
ご注意
- 再生中に総曲数などの情報を調べることはできません。

リモコンのボタンについて



1 電源ボタン
2 数字ボタン
3 +10ボタン
4 音量+＊／－ボタン
5 FM/AMボタン
6 お気に入りラジオ局ボタン
7 速度調整 標準ボタン
8 ↻A-Bボタン
9 イージーサーチ ＋10秒ボタン／イージーサーチ －3秒ボタン
10 速度調整 遅くボタン／速度調整 速くボタン
11 選局／🗀+ボタン 選局／🗀－ボタン
12 登録局選択+・►►Iボタン／登録局選択－・I◄◄ ボタン
13 ■(停止)ボタン
14 ►II(CD再生／一時停止)ボタン
15 決定ボタン（本体の表示切換／決定ボタンと同じ機能のボタンです。）
16 音声入力ボタン
17 おやすみタイマーボタン

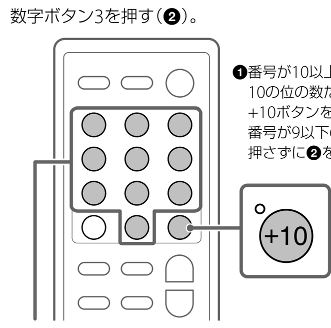
＊ リモコンの音量+ボタン、数字ボタンの5には、凸点がついています。操作の目印として、お使いください。



リモコンの数字ボタンを使ってCDの曲番やラジオの登録局番号を入力する(ダイレクト入力)

(例1) 20を入力する場合
+10ボタンを2回押してから(❶)、数字ボタン0を押す(❷)。

(例2) 3を入力する場合
数字ボタン3を押す(❷)。



❶番号が10以上のときは10の位の数だけ+10ボタンを押す。番号が9以下のときは押さずに❷を行う。

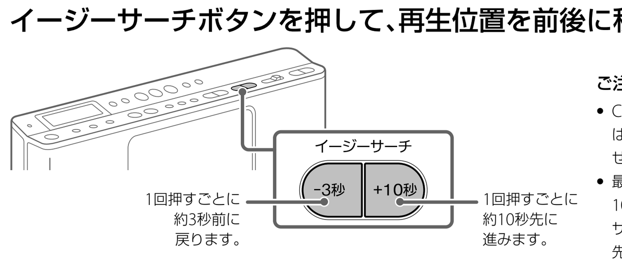
❷1の位の数の数字ボタンを押す。

CD 語学学習に便利な機能を使う

再生位置を進める／戻す（イージーサーチ機能）

CD再生中にイージーサーチボタンを押すことで、音声を戻して聞きなおしたり、進めて聞くことができます。

イージーサーチボタンを押して、再生位置を前後に移動する。



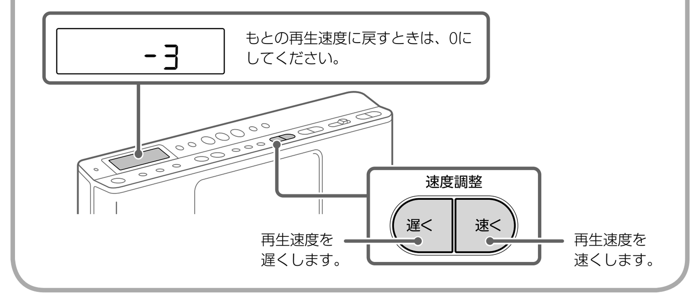
ご注意
- CDの停止または一時停止中は、イージーサーチは使えません。
- 最後の曲で残り再生時間が10秒未満の場合、イージーサーチ+10秒ボタンを押すと、先頭の曲に戻ります。

CDの再生速度を変更する（デジタルピッチコントロール機能）

語学学習などで再生速度を調節したいときに使用します。
CDの再生速度は0.5倍速から1.5倍速の11段階で変更できます。ただし、WMAディスクの場合は0.5倍速から1.2倍速の8段階です。

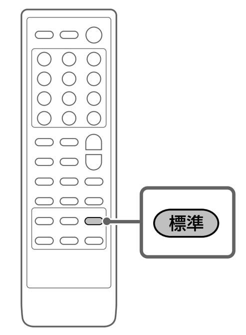
再生速度（倍速）	表示	
×0.5	−5	（遅く）
×0.6	−4	
×0.7	−3	⇧
×0.8	−2	
×0.9	−1	
×1.0	0	（標準）
×1.1	+1	
×1.2	+2	⇩
×1.3	+3	
×1.4	+4	
×1.5	+5	（速く）

速度調整ボタンを押して、再生速度を変更する。



リモコンで再生速度をもとに戻すには

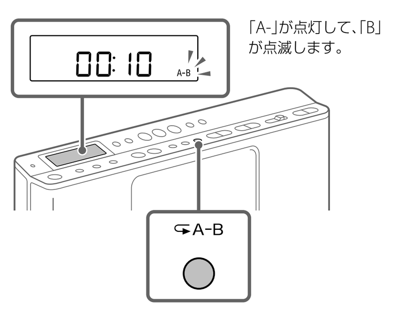
速度調整 標準ボタンを押す。



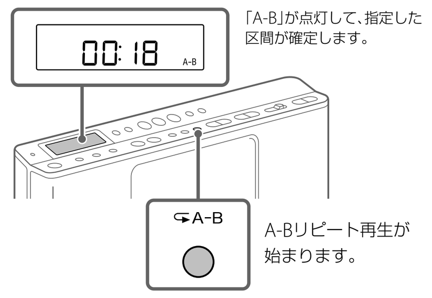
必要な部分だけ繰り返し聞く（A-Bリピート機能）

聞きたい部分の始めと終わりを指定して、繰り返し聞くことができます。

1 再生中にA-Bボタンを押して、A点を指定する。



2 もう一度、A-Bボタンを押して、B点を指定する。



A-Bリピート範囲の指定をやめるには

B点を指定する前に再生ボタンを押します。A点の指定が解除され、通常の再生に戻ります。

A-Bリピート再生をやめるには

A-Bリピート再生中に、A-Bボタンを押す。
A-Bリピート設定が解除され、通常の再生に戻ります。

A-Bリピート再生を停止するには

A-Bリピート再生中に、▶II（CD再生／一時停止）ボタンを押す。
A-Bリピートの設定を保持したまま再生が止まります。もう一度▶II（CD再生／一時停止）を押すと、A-Bリピート再生が開始します。

サーチ機能を使ってA-BリピートのB点を設定するには

再生中に▶▶Iボタン（早送り）またはI◀◀ボタン（早戻し）を押し続けて、B点を指定する位置を探すことができます。同様にイージーサーチボタンを押して再生位置を移動し、指定する位置を探すこともできます。

ちょっと一言
- A点より前の位置でもB点に指定できます。再生位置を探して先頭まで移動すると、先頭をB点としてA-Bリピート再生が始まります。

A-Bリピートの範囲を変えるには

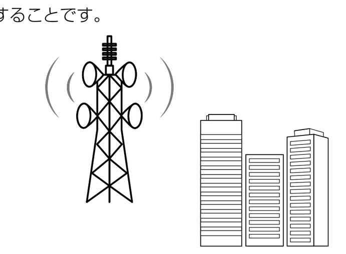
A-Bリピート再生中に、A-Bボタンを押して通常の再生に戻してから、手順1と2を行う。

ご注意
- A点を指定したあと、A-Bボタンを押さずにCD-DAトラック（曲や音声データ）またはオーディオファイルの終わりまで再生すると再生が止まり、この位置をB点としてA-Bリピート再生が始まります。

ラジオを聞く

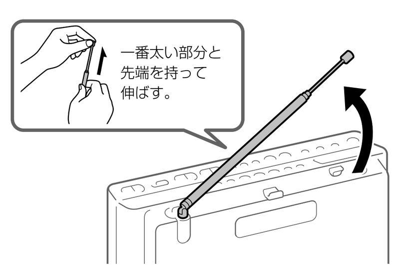
ワイドFMについて

本機は、ワイドFM（FM補完放送）に対応しています。ワイドFM放送とは、AM（中波）放送局の放送エリアにおいて、難受信対策や災害対策のために従来のFM放送用の周波数（76MHz ～ 90MHz）に加えて、新たに割り当てられた周波数（90.1MHz ～ 95MHz）を用いてAM番組を放送することです。

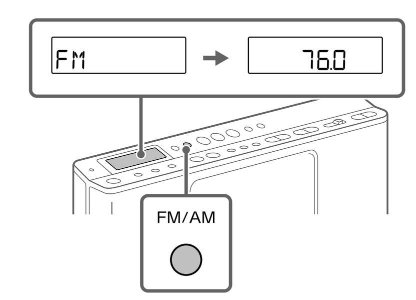


1 FMアンテナを立てて伸ばす（FM放送を受信する場合のみ）。

AM放送を受信する場合は、FMアンテナを立てる必要はありません。AM受信用のアンテナは本体に内蔵されています。

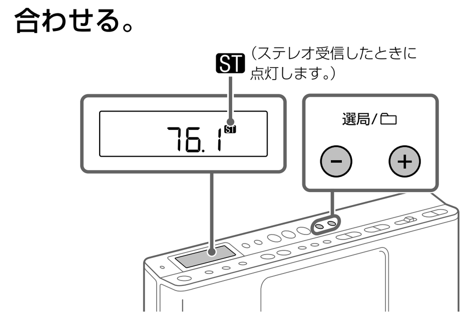


2 FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。



FMまたはAMに続いて周波数が表示されます。
周波数は、FMがMHz、AMがkHzで表示されます。

3 選局＋または－ボタンを押して、周波数を合わせる。



選局＋または－ボタンを押したままにして、数字が動き始めたら指を離します。受信可能な放送局が見つかると、自動的に周波数の数字が止まります。
選局＋または－ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせることもできます。

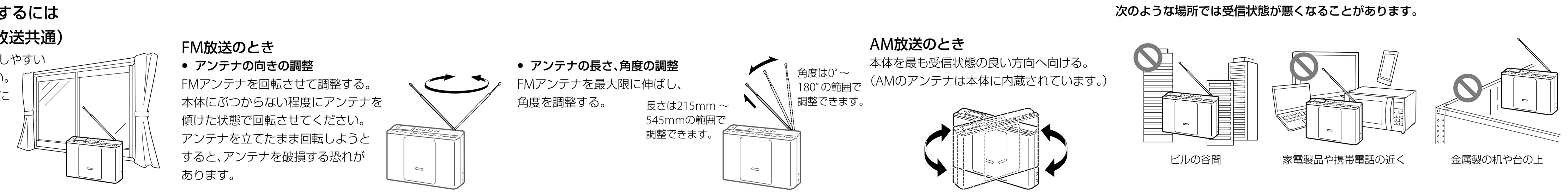
受信状態を良くするには（FM放送、AM放送共通）

窓際など、電波を受信しやすい場所でお使いください。
また、受信したい放送に合わせてアンテナを調整してください。

FM放送のとき
- **アンテナの向きの調整**
  FMアンテナを回転させて調整する。
  本体にぶつからない程度にアンテナを傾けた状態で回転させてください。アンテナを立てたまま回転しようとすると、アンテナを破損する恐れがあります。
- **アンテナの長さ、角度の調整**
  FMアンテナを最大限に伸ばし、角度を調整する。

AM放送のとき
本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。
（AMのアンテナは本体に内蔵されています。）

次のような場所では受信状態が悪くなることがあります。

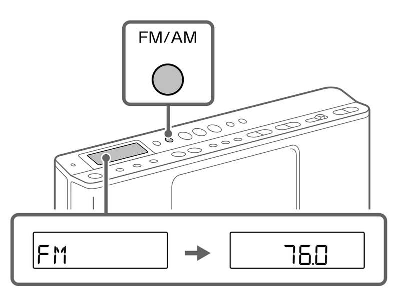


ラジオ 放送局の自動登録機能を使う

放送局を登録する

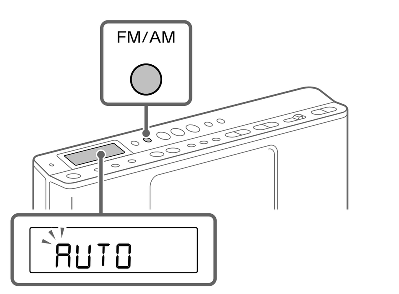
本機が検索して受信状態の良い放送局を自動的に登録します。FMとAMのそれぞれについて手順1から3を行ってください。FM：20局、AM：10局で、合計30局まで登録できます。

1 FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

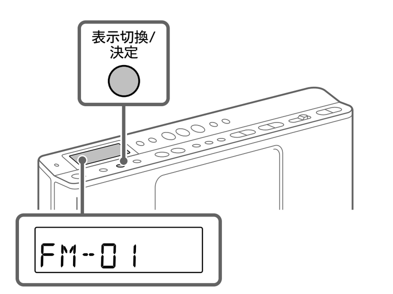


FMまたはAMに続いて周波数が表示されます。

2 「AUTO」が点滅するまで、FM/AMボタンを押したままにする。



3 決定ボタンを押して登録を開始する。

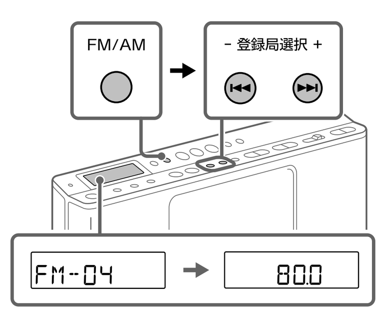


登録局番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局を自動的に登録します。もう一度、登録局番号FM-01（またはAM-01）が表示されて放送が流れると完了です。

登録された放送局を聞く

登録局番号を選ぶだけで放送を聞くことができます。

FMまたはAMを選んでから、登録局選択＋または－ボタンを押して、聞きたい局の登録局番号を選ぶ。



周波数が表示されます。

番号入力で登録局を選ぶには

「リモコンの数字ボタンを使ってCDの曲番やラジオの登録局番号を入力する（ダイレクト入力）」（おもて面）をご覧ください。

放送局を手動で登録するには

電波が弱く自動登録されなかった放送局があるときや、特定の登録局番号を使いたいときは、手動で放送局を登録することができます。登録済みの登録局番号を選んだ場合は、登録していた放送局は新しい放送局に置き換わります。

1. 登録したい放送局を受信する。
2. 登録局番号が点滅するまで、決定ボタンを押したままにする。
3. 使用したい登録局番号が点滅するまで、登録局選択＋または－ボタンを繰り返し押す。
   リモコンでは、番号を入力して登録局番号を選ぶこともできます（ダイレクト入力）。例えば、登録局番号3の場合は3が点滅するまで数字ボタン3を押したままにします。
   登録局番号20の場合は、＋10ボタンを2度押してから、20が点滅するまで数字ボタン0を押したままにします。
   ダイレクト入力の場合は手順4が不要です。
4. 決定ボタンを押す。

ちょっと一言
- 登録した放送局は、電源コードを抜いたり、乾電池を取り出したりしても保持されます。

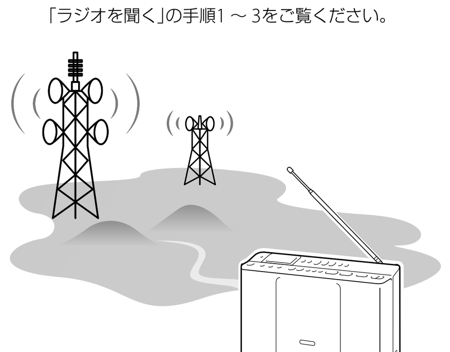
ラジオ 「お気に入りラジオ局」ボタンを使う

よく聞く放送局を「お気に入りラジオ局」ボタンに登録する

よく聞く放送局を登録しておくと、ボタンを押すだけで登録した放送局を聞くことができます。

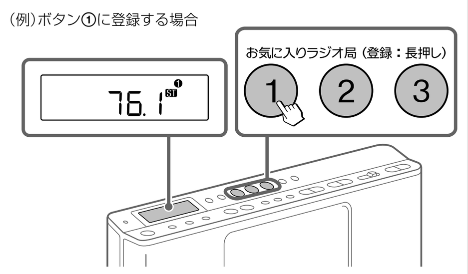
1 登録したい放送局を受信する。

「ラジオを聞く」の手順1 ～ 3をご覧ください。



2 「ピー」と音がするまで、①、②、③のいずれかの「お気に入りラジオ局」ボタンを押したままにする。

（例）ボタン①に登録する場合



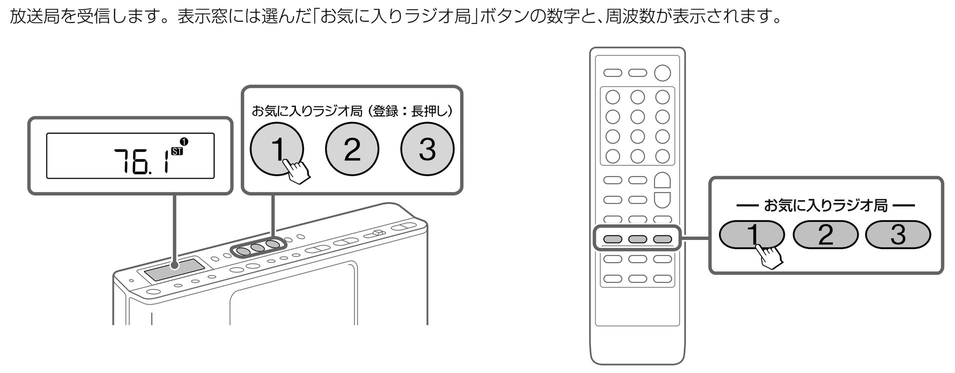
表示窓に「お気に入りラジオ局」ボタンの数字が点灯し、登録が完了します。

登録した放送局を聞く

「お気に入りラジオ局」ボタンを使うと、電源を切った状態からでもすぐにラジオを聞くことができます。

「お気に入りラジオ局」ボタンを押して、すぐ指を離す。

放送局を受信します。表示窓には選んだ「お気に入りラジオ局」ボタンの数字と、周波数が表示されます。



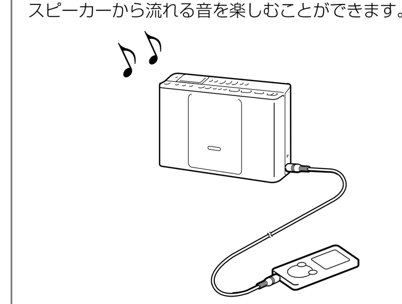
ご注意
- 「お気に入りラジオ局」ボタンを押して登録した放送局を聞くときは、ボタンを2秒以上押さないでください。2秒以上押すと、登録していた放送局は、現在受信中の放送局に置き換わります。

登録済みのボタンに別の放送局を登録するには

手順1 ～ 2を繰り返す。
新しい放送局を登録すると、同じボタンに登録されていた前の局は消えます。

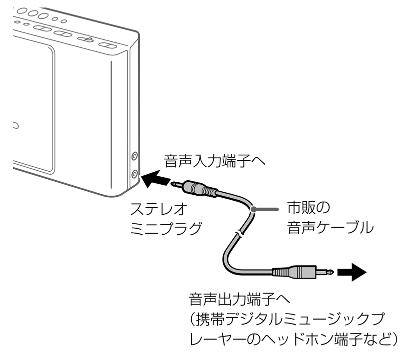
外部機器をつないで聞く

デジタルミュージックプレーヤーなどの外部機器を本機の音声入力端子につないで、スピーカーから流れる音を楽しむことができます。



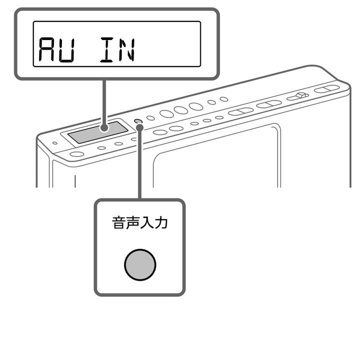
ご注意
- 本機から大きな音が出るのを防ぐため、あらかじめ外部機器と本機両方の音量を下げておいてください。

1 外部機器を本体側面の音声入力端子につなぐ。



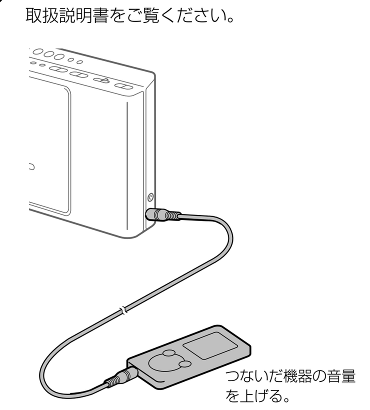
2 音声入力ボタンを押す。

「AU IN」が点灯します。



3 つないだ機器で再生を始める。

再生について詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。

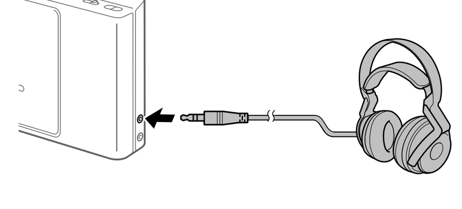


ご注意
- 接続した外部機器の出力端子がモノラルジャックの場合は、本機の右側スピーカーから音が出ない場合があります。
- 接続した外部機器の出力端子がラインアウト端子の場合は、ひずみが発生する場合があります。音がひずんだ場合は、ヘッドホン端子につないでください。
- 接続した外部機器の音量が高すぎる場合、音が割れたり、ひずんだりすることがあります。その場合には、外部機器側で音量を下げ、適度な音量で聞いてください。
- 抵抗入りの音声ケーブル（ステレオミニ）を使用すると音量が小さくなることがありますので、抵抗なしの音声ケーブル（ステレオミニ）をご使用ください。

ヘッドホンをつないで聞く

ヘッドホン（別売）でCDやラジオ、外部機器の音源を聞くことができます。
スピーカーからは音が出なくなります。

ヘッドホン（別売）を（ヘッドホン）端子につなぐ。

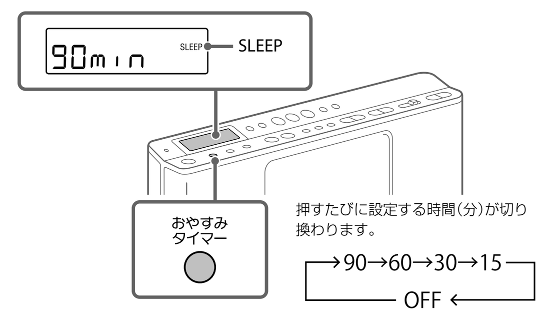


ご注意
- 音量を調節して、耳を刺激しないように適度な音量で聞いてください。

おやすみタイマーを使う

設定した時間が経過すると、自動的に本体の電源が切れます。

おやすみタイマーボタンを押して、時間を設定する。



操作しない時間が約4秒経つと、表示窓のライトが消えてタイマーが開始します。タイマーを使わないときはOFFを選んでください。

電源が切れるまでの時間を確認するには

タイマー開始後におやすみタイマーボタンを押す。

ちょっと一言
- タイマー開始後、音量＋／－ボタンなどを押すと、表示窓のライトは約4秒間点灯します。

再生できるディスク

ディスクを再生するときは、ディスクの種類を確認し、本機が対応するディスクをご利用ください。

ディスクの種類	曲／ファイルのフォーマット	対応
CD、CD-R/CD-RW*[1]*[3]	CD-DA*[2]	可
CD-R/CD-RW*[1]*[3]	MP3	可
	WMA	可
	AAC	不可
SA-CD（スーパーオーディオCD）	CD層	可
	SA-CD層	不可
DVD		不可
BD（ブルーレイディスク）		不可

*[1] 音楽CD（CD-DAフォーマット）の規格に準拠していない形式で記録されたCD-R/CD-RW、ISO9660Level 1/Level 2またはJolietのフォーマットに準拠しないCD-R/CD-RWは再生できません。
*[2] CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般の音楽CDに使用されている、音楽収録用の規格です。
*[3] ファイナライズ処理が必要です。

ご注意
- 本機では円形のCDのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたCDを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- 8 cm CDは、周囲の環境や使用状況により再生できない場合があります。
- 本機はCD再生専用です。CD-R/CD-RWに録音はできません。
- CD-R/CD-RWの再生では、お使いになったディスクの品質や記録に使用したレコーダーの状態によって、再生までに時間がかかったり、再生できない場合があります。

再生できるファイルについて

本機が対応するオーディオファイルのフォーマットは、次のとおりです。
- MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）
  拡張子：.mp3
- WMA（Windows Media Audio）
  拡張子：.wma

データCD（MP3/WMA）についてのご注意

- WMA DRM/WMA Lossless/WMA PRO形式で作成されたWMAファイルは再生できません。
- MP3ファイルには「.mp3」、WMAファイルには「.wma」の拡張子を付けてください。ただし、MP3/WMA以外のフォーマットのファイルに「.mp3」または「.wma」の拡張子を付けても、そのファイルは正しく認識されません。

フォルダー数・ファイル数の上限について

本機は再生対象として認識できるデータCDのフォルダー数とファイル数は、次のとおりです。
- 最大フォルダー数：256（ルートフォルダー含む）
- 最大ファイル数：999

安全のために

機器を本箱や組み立て式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。

火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使用しないでください。

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源ボタンを押して電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しないでください。引火のおそれがあります。

火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しないでください。

付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

電池は、直射日光、火などの過度な熱にさらさないでください。

機銘板は本機の底面に表示されています。

ご注意
- この装置に対し光学機器を使用すると、目の危険を増やすことになります。

レーザーの仕様
- 放射時間：連続
- レーザー出力：44.6 μW 未満

この出力値は、7mm の開口部にて光学ピックアップブロックの対物レンズ面より200mm の距離で測定したものです。

使用上のご注意

取り扱いについて

- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。

設置時のご注意

- 本機のスピーカーには強力な磁石が使われていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
  － 時計
  － クレジットカードなどの磁気カード
  － カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
  また、本機をテレビの近くに置かないでください。テレビの画面が乱れることがあります。

ヘッドホン（別売）使用時について

- 音量を調節して、耳を刺激しないように適度な音量で聞いてください。

商標

- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- Windows Mediaは米国および／またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
- 本製品にはMicrosoftの知的財産権の対象である技術が含まれています。
  Microsoftから使用許諾を得ることなく、この技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になったり、サポートページ（「サポートページのご案内」（うら面）参照）の情報も参考にしてください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店またはソニーの相談窓口（おもて面参照）にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下（JEITA*[1]）
周波数特性	20 Hz ～ 20,000 Hz +1/−2 dB（JEITA*[1]）
対応ファイルフォーマット	MP3（MPEG 1 Audio Layer-3） ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps, VBR サンプリング周波数：32 kHz 、44.1 kHz、48 kHz WMA ビットレート：48 kbps ～ 192 kbps, VBR サンプリング周波数：32 kHz 、44.1 kHz、48 kHz

ラジオ部

受信周波数	FM: 76.0 MHz ～ 108.0 MHz AM: 531 kHz ～ 1,710 kHz
アンテナ	FM: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵

共通部

スピーカー	フルレンジ: 5 cm、コーン型8 Ω、2個
入力端子	音声入力（ステレオミニジャック）1個
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニジャック）1個 負荷インピーダンス 16 Ω ～ 32 Ω
実用最大出力	1.0 W ＋ 1.0 W（JEITA*[1]/8 Ω）
電源	本体用： 家庭用電源（AC100 V 50 Hz/60 Hz） 単3形乾電池6本使用（DC 9 V）（別売） リモコン用： 単4形乾電池2本使用（DC 3 V）
消費電力	10 W 約0.8 W（電源オフ時）
電池持続時間*[2]	CD再生時（JEITA*[1]） 約2時間30分（音量13程度） FM受信時 約15時間（音量17程度）
最大外形寸法	約318 mm × 172 mm × 70 mm （幅 × 高さ × 奥行き） （最大突起部含む）（JEITA*[1]）
質量	本体 約1.4 kg ご使用時 約1.6 kg（乾電池、CD含む）
付属品	電源コード（1）、リモコン（1）、リモコン用単4形乾電池（2）、安全のために（1）、取扱説明書・保証書（1）

*[1] JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
*[2] ソニー単3形（LR6）アルカリ乾電池使用時。周囲の温度や使用状況、電池のメーカーや種類により、上記の電池持続時間と異なることがあります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

故障かな？と思ったら

本機が正しく動作しないときは、下記の項目をチェックしてください。
それでも正しく動作しないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

共 通

乾電池を入れたのに電源が入らない。
- 乾電池の向きが正しいことと、電源コードが本機から抜かれていることを確認してください（「準備をする」の「乾電池を使うとき」（おもて面）を参照）。
- 電源ランプが暗くなっているか消えている場合は、すべての乾電池を新しいものと交換してください。
- 買い置きしたまま長時間放置した乾電池を入れた場合、消耗している可能性があります。販売店で新しい電池を購入して交換してみてください。（乾電池は未開封でも時間とともに消耗していきます。消耗する早さは、乾電池の保管場所の温度などによって異なります。）
- 充電池はお使いになれません。充電池は乾電池に比べて定格電圧が低く、本機の動作に必要な電圧を確保できません。
- 乾電池アダプターはお使いになれません。アダプターの端子が接触しない場合があります。
  また単4形乾電池の電流容量が単3に比べて小さく、本機の動作に必要な電流を供給できません。

電池の消耗が早い。
- 本機をマンガン乾電池でお使いの場合、使用時間が著しく短くなることがあります。乾電池で使う場合は、アルカリ乾電池をお使いください。

音が出ない。
- 音量を調節してください。
- ヘッドホンを（ヘッドホン）端子から抜いてください。

本体から「ブーン」と小さいノイズ音がする。
- 電源の状況により本体から「ブーン」と小さいノイズ音がする場合がありますが、故障ではありません。

雑音が入る。
- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している→携帯電話などを本機から離して使用してください。

音が割れる、ひずむ。
- 音量が大きすぎる
  →音量を下げて適度な音量に調節してください。
  →CDにより録音されている音量に差があります。大きな音のCDは、音がひずまないように音量を調整してください。
  →接続した外部機器の音量が大きすぎる場合、外部機器側で音量を下げてください。
- 乾電池が消耗している→乾電池が消耗していると音が割れることがあります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。

CD

おもて面の「困ったときは」の「CD」の内容もあわせてご覧ください。

CDが入っているのに「noCD」が表示される。

noCD

- 本機で再生できないディスクを入れた→本機で再生可能なディスクを入れてください。
- 読み取りに問題のあるCDを入れた→他のCDをお試しください。
- CDが裏返し→印刷面を手前にしてください。

CDを入れたときに「00」が点滅する。

TRACK 00

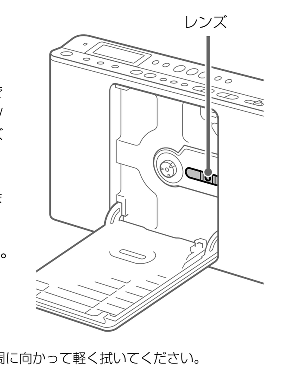
- 本機が対応する拡張子やフォーマットのファイルがひとつも記録されていないCDを入れた→他のCDをお試しください。

CDを入れたときに「Err」と表示される。

Err

- CDの汚れがひどい→やわらかい布で、信号面を外周に向かって軽く拭いてください。
- CDに傷がある→他のCDをお試しください。
- DVDなど本機で再生できないディスクを入れた→本機で再生可能なディスクを入れてください。
- 読み取りに問題のあるCDを入れた→他のCDをお試しください。
- CD-R/CD-RWに何も記録されていない→他のCDをお試しください。

再生が始まらない。
- CDが裏返し→印刷面を手前にしてください。
- CDの汚れがひどい→やわらかい布で、信号面を外周に向かって軽く拭いてください。
- レンズに露（水滴）がついている
  →CDを取り出して電源を切り、CDぶたを開けたまま1時間くらい置いてください。
- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）がされていないCD-R/CD-RWは再生できません。録音した機器でファイナライズを行ってください。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。



CDの読み込み時に「キュルキュル」と音がする。
- 読み込み時の動作音です。故障ではありません。

音がとぶ。
- 音量を下げてください。
- CDの汚れがひどい→やわらかい布で、信号面を外周に向かって軽く拭いてください。
- 振動のない場所に置いてください。
- CDに傷があると、音がとんだり正常に再生されないことがあります。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり、雑音が入ることがあります。

MP3ファイルやWMAファイルを再生できない。
- 本機がサポートしていないファイルシステムのCDを入れた可能性があります。「再生できるディスク」の「再生できるファイルについて」（うら面）をご覧ください。

ラジオ

おもて面の「困ったときは」の「ラジオ」の内容もあわせてご覧ください。

FM放送の受信時にステレオにならない。
- 表示窓に「ST」と表示されるまでモード切換ボタンを押して、FM放送の受信モードをステレオに切り換えてください。
- ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。

雑音が入る。
- FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。雑音が多いときは、表示窓に「Mono」と表示されるまでモード切換ボタンを押して、モノラル受信に切り換えてください。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換してください。
- テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
- AM放送受信時にリモコンで操作すると、雑音が入ることがあります。

「お気に入りラジオ局」ボタンを押しても、登録した放送局が受信できない。
- 放送局を登録したあと「お気に入りラジオ局」ボタンを押したままにすると、受信中の放送局で上書き登録されます。

リモコン

リモコンで操作ができない。
- リモコン受光部に向けて操作を行ってください。（「リモコンのボタンについて」（おもて面）をご覧ください。）
- リモコンの乾電池が消耗していたら、新しいものと交換してください。
- 本体に近づいて操作してください。
- リモコンと本体の間の障害物を取り除いてください。
- 本体リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）を当てないでください。

サポートページのご案内

ラジオ／CDラジオ・ラジカセサポートのホームページでは、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

URL：http://www.sony.jp/support/radio/